

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期	11,550,000株	2020年2月期	11,550,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期	33,802株	2020年2月期	23,288株
③ 期中平均株式数	2021年2月期	11,528,692株	2020年2月期	11,526,712株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役に対する株式交付信託が保有する当社株式を含めておりません。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	64,467	△2.3	2,079	29.7	2,179	16.9	703	△41.4
2020年2月期	65,980	△2.7	1,603	△17.4	1,864	△15.5	1,201	△4.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	61.04	—
2020年2月期	104.26	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年2月期	44,475		20,347		45.7	1,766.84		
2020年2月期	46,288		19,715		42.6	1,710.39		

(参考) 自己資本 2021年2月期 20,347百万円 2020年2月期 19,715百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国内外の経済活動が制限され、外出自粛や移動制限などから個人消費が冷え込み、景気は急速に悪化しました。「G o T o キャンペーン事業」の需要喚起策など政府による経済活動への後押しがあり、一部で回復の兆しが見られたものの、都市部を中心に緊急事態が再び宣言されるなど、コロナ収束への道筋が見えない深刻な状況が続いております。

小売業界におきましては、新型コロナウイルスによる新たな生活様式の常態化に伴い、業種・業態での影響度合いに濃淡が生じるなか、新常态への対応が企業業績に格差をもたらしました。

こうしたなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症防止対策を最重点とした事業活動に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

事業拡張につきましては、当社における岡山市内のドミナント戦略として2020年10月に津島店(岡山市北区)、12月に昭和町店(同)を新設いたしました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は、694億57百万円(前年度比2.4%減)となりました。また、経常利益は23億85百万円(同14.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、7億98百万円(同38.8%減)となりました。

事業セグメントの概況は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、コロナ禍により大型店舗への客足が遠のき、衣料品や生活用品の需要が減少する一方、巣ごもり消費や在宅勤務などを要因に内食需要が高まり、食料品は堅調に推移いたしました。

こうしたなか、新型コロナウイルス対策として、店内混雑緩和を目的に折込チラシの配布や大型イベントの自粛、営業時間の短縮、「おもいやり優先時間」の設定、QRコード決済の拡張及び決済マネー事業者との共同キャンペーンによるキャッシュレス決済の推進など、安全に配慮した販売体制の構築に取り組むほか、自治体による自宅療養者向け配食サービスへの協力や2020年3月に移動販売事業の拡大を目的としたとくし丸事業の子会社化などコロナ禍における生活必需品の提供使命をより一層果たすことにも努めてまいりました。さらに、従業員への感染防止対策支援やテナント家賃の減額要請への対応などを実施するほか、店舗及び部門間の繁閑に応じて要員体制を見直すとともに、省力機器の導入や業務のデジタル化により働き方改革の推進及び生産性の向上にも注力してまいりました。

また、3月に安定的な商品供給を目的に生鮮センター(岡山市南区)内に水産加工センターを開設、4月に東一宮店(岡山県津山市)の全面改装、7月に鴨方店(岡山県浅口市)を改装し、ホームファニシングストア「ニトリ」を導入するなど既存店舗の活性化にも取り組んでまいりました。さらに、6月には、本部社屋の建て替えを行い、バックオフィスの最適化を目指し、フリーアドレス制の採用やデジタル化によるペーパーレスを推進するなど、効率的に業務を遂行できる環境を整備し、従業員の働き方改革に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売事業の売上高は、611億58百万円(前年度比2.1%減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。惣菜等調理食品の製造販売は供給カテゴリーの増加により収益回復が見られた一方、飲食部門は「G o T o E a t」による一部需要喚起がありましたものの、コロナ禍による客数減の影響を大きく受け厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の小売周辺事業の売上高は、52億27百万円(前年度比7.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億29百万円減少し、457億54百万円(前連結会計年度比4.0%減)となりました。これは主に、土地の減少などにより、固定資産が8億53百万円減少し、商品の減少などにより流動資産が6億12百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ26億51百万円減少し、240億73百万円(前連結会計年度比9.9%減)となりました。これは主に、有利子負債の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億22百万円増加し、216億80百万円(前連結会計年度比3.4%増)となりました。これは主に、当期純利益により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加し、10億41百万円(前連結会計年度比28.8%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が4億47百万円減少したものの、たな卸資産の減少や減損損失の増加などにより、前連結会計年度に比べ1億46百万円増加し、33億65百万円(前連結会計年度比4.6%増)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、預り敷金及び保証金の受入による収入が6億39百万円増加したことや有形固定資産の取得による支出が1億88百万円減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ8億68百万円増加し、5億8百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減などにより、前連結会計年度に比べ7億20百万円減少し、26億24百万円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルスワクチンに期待が寄せられるものの、経済正常化には長期化が予測され、依然として先行き不透明のなか、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような厳しい環境のなかで、コロナ禍により常態化した新たな生活様式への対応を最重点に取り組むとともに危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも注力してまいります。

小売事業につきましては、短時間や非接触でのお買物ニーズに対応するため、キャッシュレス決済の推進、取扱金券の電子化、ネット販売の拡大及び清潔な店舗環境の整備などに努めることで引き続き感染防止策を徹底するとともに、コロナ禍における生活応援として、スーパーハッピープライス商品数増によるEDLP(低価格戦略)の強化やEdy付きハッピーカードの新販促及びSNSを活用した販促に取り組んでまいります。また、2021年3月に岡南店駐車場に「アクロスプラザ岡南」(岡山市南区)の一部開業にあわせ岡南店の食料品売場をリニューアルオープン、4月に岡輝店(岡山市北区)、7月に府中天満屋を全面改装するなど既存店舗の活性化を進めるほか、株式会社天満屋及び株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携も深耕してまいります。さらに、業務のデジタル化による生産性の更なる向上や省エネ機器の拡大など環境に配慮した店づくりを通じて働き方改革や環境問題に取り組むとともに、激変する事業環境において迅速に対応できる強固な体制の構築にも注力してまいります。加えて、当社が認定を受けております「くるみん」や「健康経営優良法人」に基づく働きやすい職場環境づくりを進め、組織の活性化にも努めてまいります。

小売周辺事業につきましては、品質管理と衛生管理を一層強化するとともに、コロナ禍によるニューノーマルがもたらす多様なニーズに対応し、商品開発力の強化や生産性の向上に努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、営業収益700億円(前連結会計年度比0.8%増)、営業利益24億50百万円(前連結会計年度比6.7%増)、経常利益24億円(前連結会計年度比0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は11億円(前連結会計年度比37.8%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の状況を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,589	1,041,253
売掛金	1,693,250	1,570,630
商品	2,540,436	1,935,676
貯蔵品	33,292	25,764
その他	1,919,326	1,804,032
貸倒引当金	△6,290	△1,493
流動資産合計	6,988,605	6,375,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,072,074	50,742,641
減価償却累計額	△38,249,655	△38,683,885
建物及び構築物(純額)	11,822,419	12,058,755
機械装置及び運搬具	1,860,751	1,881,535
減価償却累計額	△1,180,343	△1,239,355
機械装置及び運搬具(純額)	680,408	642,179
工具、器具及び備品	5,595,125	5,588,769
減価償却累計額	△4,899,283	△4,862,417
工具、器具及び備品(純額)	695,842	726,351
土地	14,616,240	14,023,900
リース資産	2,491,627	2,567,070
減価償却累計額	△1,240,256	△1,489,415
リース資産(純額)	1,251,371	1,077,654
建設仮勘定	331,055	14,685
有形固定資産合計	29,397,336	28,543,526
無形固定資産		
のれん	152,688	113,673
その他	2,648,859	2,598,695
無形固定資産合計	2,801,548	2,712,369
投資その他の資産		
投資有価証券	1,071,611	1,068,364
差入保証金	2,034,668	1,925,105
敷金	4,559,273	4,246,879
繰延税金資産	684,405	637,190
その他	159,225	258,013
貸倒引当金	△12,800	△12,600
投資その他の資産合計	8,496,384	8,122,954
固定資産合計	40,695,269	39,378,850
資産合計	47,683,875	45,754,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,641,078	2,452,638
電子記録債務	899,359	716,168
短期借入金	3,000,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	4,322,008	3,853,857
リース債務	263,287	264,221
未払法人税等	424,037	411,317
賞与引当金	95,543	94,085
その他	3,180,510	3,016,391
流動負債合計	14,825,825	13,608,679
固定負債		
長期借入金	6,843,212	5,274,125
リース債務	1,110,531	925,319
退職給付に係る負債	1,380,332	1,266,645
役員株式給付引当金	26,454	30,756
利息返還損失引当金	67,899	49,201
資産除去債務	219,636	234,664
長期預り保証金	123,379	622,315
長期預り敷金	1,988,716	2,001,372
その他	139,513	60,849
固定負債合計	11,899,676	10,465,250
負債合計	26,725,501	24,073,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	12,007,099	12,747,558
自己株式	△26,876	△39,376
株主資本合計	21,025,223	21,753,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,464	41,886
退職給付に係る調整累計額	△152,556	△161,707
その他の包括利益累計額合計	△111,092	△119,820
非支配株主持分	44,243	47,422
純資産合計	20,958,373	21,680,784
負債純資産合計	47,683,875	45,754,714

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	68,117,022	66,385,912
売上原価	51,037,691	49,568,157
売上総利益	17,079,331	16,817,754
営業収入		
不動産賃貸収入	1,195,279	1,127,787
共同配送手数料収入	1,593,591	1,650,459
その他の営業収入	274,726	293,023
営業収入合計	3,063,597	3,071,270
営業総利益	20,142,929	19,889,025
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	584,824	394,977
販売諸費	1,104,594	1,121,229
給料及び賞与	5,692,119	5,392,788
賞与引当金繰入額	81,927	82,739
退職給付費用	133,857	132,903
賃借料	2,616,577	2,571,813
減価償却費	1,654,354	1,682,413
その他	6,371,102	6,214,482
販売費及び一般管理費合計	18,239,357	17,593,347
営業利益	1,903,571	2,295,677
営業外収益		
受取利息	3,251	3,200
受取配当金	70,805	71,148
雇用調整助成金	—	56,696
協賛金収入	71,030	24,530
受取補償金	166,022	9,461
補助金収入	1,852	6,451
その他	12,268	21,269
営業外収益合計	325,230	192,757
営業外費用		
支払利息	117,442	95,011
その他	33,377	8,273
営業外費用合計	150,820	103,284
経常利益	2,077,981	2,385,150
特別利益		
保険差益	258,541	—
その他	23,574	—
特別利益合計	282,115	—
特別損失		
固定資産除却損	64,591	87,338
減損損失	138,066	497,200
固定資産譲渡損	—	290,176
固定資産圧縮損	174,015	—
その他	37,648	11,946
特別損失合計	414,322	886,661
税金等調整前当期純利益	1,945,775	1,498,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
法人税、住民税及び事業税	618,735	643,815
法人税等調整額	17,325	50,887
法人税等合計	636,061	694,703
当期純利益	1,309,713	803,785
非支配株主に帰属する当期純利益	5,279	5,578
親会社株主に帰属する当期純利益	1,304,433	798,206

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	1,309,713	803,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,769	422
退職給付に係る調整額	9,366	△9,150
その他の包括利益合計	△27,402	△8,727
包括利益	1,282,310	795,057
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,277,030	789,478
非支配株主に係る包括利益	5,279	5,578

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,697,500	5,347,500	10,818,160	△26,876	19,836,284
当期変動額					
剰余金の配当			△115,494		△115,494
親会社株主に帰属する当期純利益			1,304,433		1,304,433
自己株式の取得					
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,188,939	—	1,188,939
当期末残高	3,697,500	5,347,500	12,007,099	△26,876	21,025,223

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	78,233	△161,923	△83,690	41,363	19,793,957
当期変動額					
剰余金の配当				△2,400	△117,894
親会社株主に帰属する当期純利益					1,304,433
自己株式の取得					
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△36,769	9,366	△27,402	5,279	△22,123
当期変動額合計	△36,769	9,366	△27,402	2,879	1,164,416
当期末残高	41,464	△152,556	△111,092	44,243	20,958,373

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,697,500	5,347,500	12,007,099	△26,876	21,025,223
当期変動額					
剰余金の配当			△57,747		△57,747
親会社株主に帰属する当期純利益			798,206		798,206
自己株式の取得				△17,131	△17,131
自己株式の処分				4,631	4,631
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	740,459	△12,500	727,958
当期末残高	3,697,500	5,347,500	12,747,558	△39,376	21,753,182

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41,464	△152,556	△111,092	44,243	20,958,373
当期変動額					
剰余金の配当				△2,400	△60,147
親会社株主に帰属する当期純利益					798,206
自己株式の取得					△17,131
自己株式の処分					4,631
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	422	△9,150	△8,727	5,578	△3,148
当期変動額合計	422	△9,150	△8,727	3,178	722,410
当期末残高	41,886	△161,707	△119,820	47,422	21,680,784

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,945,775	1,498,488
減価償却費	1,654,354	1,682,413
減損損失	138,066	497,200
のれん償却額	39,244	39,014
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33,903	△4,997
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,854	△1,458
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,234	△126,845
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	10,300	4,301
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△14,039	△18,697
受取利息及び受取配当金	△74,057	△74,348
支払利息	117,442	95,011
固定資産除却損	64,591	87,338
固定資産譲渡損益(△は益)	—	222,068
保険差益	△258,541	—
売上債権の増減額(△は増加)	△126,536	122,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	96,563	612,288
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,682	△331,793
その他	△157,555	△239,982
小計	3,364,404	4,062,622
利息及び配当金の受取額	52,341	50,853
利息の支払額	△114,543	△94,491
保険金の受取額	483,835	—
法人税等の支払額	△566,730	△653,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,219,307	3,365,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,613,643	△1,425,539
有形固定資産の売却による収入	115,725	—
無形固定資産の取得による支出	△184,669	△39,450
貸付けによる支出	—	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△15,178	△57,737
敷金及び保証金の回収による収入	462,048	472,438
預り敷金及び保証金の受入による収入	21,261	660,830
預り敷金及び保証金の返還による支出	△162,767	△109,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,377,224	△508,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	730,000	△200,000
長期借入れによる収入	3,000,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△5,170,861	△4,537,238
リース債務の返済による支出	△301,299	△266,858
自己株式の売却による収入	—	1,203
自己株式の取得による支出	—	△17,131
配当金の支払額	△115,494	△57,747
非支配株主への配当金の支払額	△2,400	△2,400
その他	△44,259	△44,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,904,314	△2,624,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△62,230	232,663
現金及び現金同等物の期首残高	870,820	808,589
現金及び現金同等物の期末残高	808,589	1,041,253

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、販売する商品やサービスの内容の類似性に基づき集約された「小売事業」、「小売周辺事業」の2つを報告セグメントとしております。

「小売事業」は、食料品、雑貨、衣料品の小売業及びこれに付帯する店舗賃貸業等であります。

「小売周辺事業」は、惣菜等調理食品の製造販売業、ファミリーレストラン等の外食事業及び商品供給に係る事業であります。

2 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円) (注)1	連結財務諸表 計上額(千円) (注)2
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
外部顧客への営業収益	65,328,522	5,852,098	71,180,620	—	71,180,620
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	167,182	4,667,080	4,834,263	△ 4,834,263	—
計	65,495,705	10,519,179	76,014,884	△ 4,834,263	71,180,620
セグメント利益	1,641,222	262,348	1,903,571	—	1,903,571
セグメント資産	44,926,778	2,581,365	47,508,143	175,731	47,683,875
その他の項目					
減価償却費	1,515,311	139,042	1,654,354	—	1,654,354
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,855,763	25,039	1,880,803	—	1,880,803

(注) 1 セグメント資産の調整額175,731千円には、セグメント間の債権に対する相殺消去△1,194,032千円、全社資産1,369,763千円が含まれております。全社資産は、主に当社の現金及び預金、投資有価証券等であります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円) (注)1	連結財務諸表 計上額(千円) (注)2
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
外部顧客への営業収益	64,053,335	5,403,847	69,457,183	—	69,457,183
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	164,977	4,387,906	4,552,883	△ 4,552,883	—
計	64,218,313	9,791,753	74,010,066	△ 4,552,883	69,457,183
セグメント利益	2,079,763	215,913	2,295,677	—	2,295,677
セグメント資産	42,884,785	2,541,231	45,426,016	328,698	45,754,714
その他の項目					
減価償却費	1,559,266	123,147	1,682,413	—	1,682,413
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,469,629	38,405	1,508,034	—	1,508,034

(注) 1 セグメント資産の調整額328,698千円には、セグメント間の債権に対する相殺消去△1,268,951千円、全社資産1,597,649千円が含まれております。全社資産は、主に当社の現金及び預金、投資有価証券等でありませ

- 2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客への営業収益がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、連結損益計算書の営業収益(売上高及び営業収入)の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客への営業収益がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、連結損益計算書の営業収益(売上高及び営業収入)の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
減損損失	138,066	—	—	138,066

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
減損損失	497,200	—	—	497,200

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
当期償却額	39,244	—	—	39,244
当期末残高	152,688	—	—	152,688

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

	報告セグメント(千円)		全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	小売事業	小売周辺事業		
当期償却額	39,014	—	—	39,014
当期末残高	113,673	—	—	113,673

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
1株当たり純資産額	1,814.40円	1,878.51円
1株当たり当期純利益	113.16円	69.23円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
- 2 株主資本において自己株式として計上されている取締役に対する株式交付信託に残存する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式数に含めております。
- 1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度22,723株、当連結会計年度20,743株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度22,723株、当連結会計年度33,237株であります。
- 3 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	20,958,373	21,680,784
普通株式に係る純資産額(千円)	20,914,130	21,633,361
差額の主な内訳(千円)		
非支配株主持分	44,243	47,422
普通株式の発行済株式数(株)	11,550,000	11,550,000
普通株式の自己株式数(株)	23,288	33,802
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	11,526,712	11,516,198

(2) 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度	当連結会計年度
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,304,433	798,206
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,304,433	798,206
普通株式の期中平均株式数(株)	11,526,712	11,528,692

(重要な後発事象)

該当事項はありません。